



01



03



02

01.杉の木により姿がみえなくなっている石垣。02.堀切の一部が崩落。03.頂上も木が茂り景色が見えづらくなっている。

京城跡を守り続けていく そのために、できることを一歩ずつ



かつての姿を取り戻すために

貴重な文化遺産である京城跡ですが、地域住民の高齢化に伴い、管理が困難になっており、その姿が徐々に失われようとしています。

数十年前は頂上からの見晴らしもよく、相野谷筋一帯が見えていたようですが、現在は木が茂り眺望を邪魔しています。また、石垣や堀切が崩れてきている箇所もあります。

かつての姿を取り戻すためにも、地元の人々や町は、京城跡を次世代へ伝えて行くための活動を進めています。これまでに勉強会、意見交換会を重ね、京城跡の文化的価値などを学ぶとともに、課題の洗い出しを行い、基本構想書を作りました。

また、今年度は保存の方法、維持管理についての考え方をまとめた保存活用計画を策定予定です。

持続可能な維持管理方法を模索しながらも、将来を担う子どもたちを対象にした活動を企画するなど、一歩一歩、保存に向けた取り組みを進めています。

これまでの取り組み

平成23年3月

羽山地遺跡（第1次）発掘調査報告
鎌倉時代から室町時代にかけての集落跡が確認された。中世後期の土師器では、南伊勢系と播磨系が確認された。

平成26年3月

羽山地遺跡（第2次）発掘調査報告
平安時代末期から江戸時代末期まで遺物が確認された。

平成27年8月24日

京城跡勉強会 講師：伊藤裕偉氏

京城跡に対する関心の高まりを受け三重県教育委員会より講師を招き勉強会を開催。

平成29年7月19日

春秋学級・チャレンジ学級 講師：矢熊敏男氏

町の生涯学習講座として「紀宝町の文化遺産や伝承など」と題して文化遺産についての講演会を開催。

平成29年10月27日

第1回検討会 講師：伊藤裕偉氏
三重県教育委員会より講師を招き、京城跡の概要や歴史的な位置付け、本質的価値などについて講演いただいた。

平成29年12月17日

第2回検討会 オブザーバ・新名強氏
まちあるきワークショップとして、京城

跡を中心とした周辺文化財について実際に現地を歩きながら確認し、保存管理・活用・整備等に関する現状での課題と意見収集。

平成29年1月20日

第3回検討会
関係者によるワークショップとして、これまでの成果を基に関係者が参加し、今後の活用や整備の方針について意見をまとめた。

平成30年3月9日

第4回検討会 意見交換会

基本構想書案の内容を確認、今後の展望や課題を関係者間で共有した。

平成30年3月19日

学校運営協議会 講師：寺尾邦義氏

相野谷中学生在が実際に京城跡を歩き、史跡について学んだ。

平成30年3月

「京城跡将来像の基本構想」を策定

平成30年10月29日

第1回保存活用計画策定会議

京城跡の保存活用計画を策定するために関係者が集まり、意見交換を行った。

